OITC

Okinawa Industrial Technology Center

赤瓦屋根を未来へ継承するために

― 赤瓦に適した原料（クチャ）の確保に向けて ―

背景

沖縄の伝統的な建材の赤瓦。沖縄の澄んだ青い空、青い海と共に綺麗な赤い瓦屋根がある風景という景観性だけではなく、夏はすずしく、冬には暖かいという機能的利点も魅力です。

現在、県内で生産している赤瓦は本島南部一帯で採れるクチャと呼ばれる粘土質の土を原料としています。

クチャは、住宅・畑等の造成時に、その都度入手することができますが安定供給という面で課題があります。

内容

そこで、公共事業（土地改良事業、道路建設等）の関係者に協力を依頼し、将来の事業計画を踏まえたクチャの地質調査、埋蔵量調査等[1)]を行い、今後発生するクチャ残土の活用について検討しました。

当センターは、採取したクチャが赤瓦の原料に適しているか試験を行い、沖縄県赤瓦事業協同組合とともに、赤瓦の原料として活用する際の注意点を調査地区ごとにまとめました。

成果

調査地区ごとにまとめた情報は、短期・中期的な原料の確保や赤瓦の製造を行う際に利用され、赤瓦の生産性や品質の向上に役立つと考えられます。

特に赤瓦の原料に適したクチャが埋蔵している可能性が高い地層（ 与那原層Ylp_2 ）の情報は、今後のクチャの効率的な確保につながり、長期的な原料の確保に役立つと考えられます。

調査地区の地質図[2)]

与那原層Ylp_2

＜特徴＞
- 強度が大きい
- 吸水率が低い
- 発色が良い

与那原層
- Yup_2 、Yp_3 、Yp_4（下層より）
- Ylp_2 … 伊覇、大里、瓦組合クチャ　← 新しい層
- Yup_1… 喜屋武、与那原
- Ylp_1 … 宮平、津嘉山、津嘉山公園　← 古い層

今後の展開など

沖縄県赤瓦事業協同組合では、原料の確保に向けて関係者に働きかけを行い、クチャおよび赤瓦を地域資源として守り発展させていきます。

1)与那原町役場産業振興課,株式会社アジア測量設計,平成25年度 与那原町赤瓦原材料（クチャ）埋蔵量調査
2)産業技術総合研究所地質調査総合センター,1/5万地質図幅「那覇及び沖縄市南部地域」「糸満及び久高島地域」

連絡先：沖縄県工業技術センター　〒904-2234　沖縄県うるま市州崎12番2　TEL：098-929-0111　FAX：098-929-0115

http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html